各　位

2021年5月24日
株式会社アルメディオ

自動運転用レーダー波制御用CNF複合樹脂コンパウンドを開発

株式会社アルメディオ（本社：東京都国立市、代表取締役社長：髙橋　靖、以下「当社」）は、ナノマテリアル事業において、かねてよりカーボンナノファイバー(Carbon Nano Fiber:以下「CNF」)を開発、マーケティング中でありましたが、このほど自動車のバンパー・フェンダーに使用されている樹脂とCNFを組み合わせて、次世代自動運転用レーダー波制御用CNF複合樹脂コンパウンドを開発、自動車分野における潜在顧客へのサンプル提供を開始しましたのでお知らせいたします。

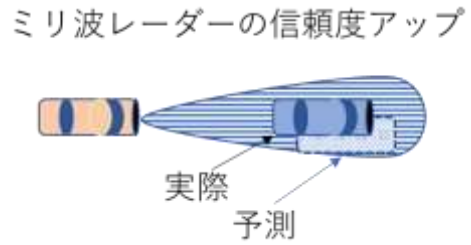
自動運転車においては、車体前後に多数のセンサーを装備し、前方走行車及び周辺障害物の位置認識を行っていますが、特にレーダーセンサーにおいては発信器からのサイドローブ（主信号以外に発信される副信号）と路面から回り込む反射波を抑制することが、運転制御の精度を向上することにつながるといわれています。当社CNF複合樹脂コンパウンドを用いた成型部品は、これらノイズとなる信号を吸収、遮蔽機能により99%以上抑制できることから、自動運転技術でしのぎを削る自動車業界からの引き合いが増加しています。

CNFの直径は数百ナノメーター、炭素繊維（カーボンファイバー）の約10分の１、カーボンナノチューブの約10倍であり、このサイズの炭素系繊維は世界でもまれであります。当社CNFの特長は、このサイズと電気伝導性に優れていること、また樹脂への分散性が良いことであります。

電波吸収材料としてのCNFは従来の吸収材料に比べ樹脂コンパウンドの機械的強度を大幅に上げる補強性を持つことから、薄肉化による軽量化、射出成型によるフェンダーモジュール等大型部品の成型が可能となります。また、リサイクル使用時も繊維寸法の変化が少ないため、部品からの再利用が容易であり、SDGsに寄与することができます。

当社では、この分野でのマーケティングを強化し2021年5月14日付で公表いたしました「中期経営計画2021」の売上計画数値達成を見込みます。

イメージ



ノイズにより、レーダーセンサーに誤差が生じます。
このノイズを抑制することで、精度の高い位置認識を得ることが可能となります。

【製品に関するお問い合わせ先】
株式会社アルメディオ
営業本部営業部
ナノマテリアル事業
E-Mail：carbon@almedio.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ先】
株式会社アルメディオ
IR担当
E-Mail：ir@almedio.co.jp